



藤枝小で職業観育成事業を実施しました！



～5年生がオンラインで林業の専門家にインタビュー～

11月18日(木)に藤枝小学校と静岡市の林業家 片平有信さんを Zoom でつなぎ、藤枝小5年生が専門家に仕事のやりがいや苦労についてインタビューしました。



5年生は、社会科の単元の1つである「国土の自然とともに生きる」のうち「森林」について学習しています。人々の生活にとって重要な役割を果たしている森林資源を守るためのさまざまな取り組みや、自分たちにできる心がけについて学習を深めることを目的として開催されました。

Q1

大変だと思う仕事はなんですか？



A1

全部大変ですが、一番大変なのは外で行う仕事です。20～30mある木を倒すのは危険が伴うので大変です。
また、木を育てるのにも時間がかかります。今仕事で切っている木は僕の祖父が植えた木を切っています。



Q2

森林を守るために、私たちにできることはありますか？



A2

木はこのようなサイクルで動いていますが、林業は「使うため」に仕事しています。そこでみんなにやってほしいのは「使う」ことをやってほしいと思います。木の家を建てたり、木の筆箱を使ったり、木を好きになってほしいです。木のことを好きになってくれば、僕の手助けになります。



職業観育成事業とは、子どもたちが多様な大人と出会い、多様な職業観を身につけられるようなキャリア教育の実践として、静岡大学によるICTを活用した「子どもと専門家」をつなぐ遠隔授業を市内小中学校で実施しています。今年度は藤枝小、青島中など6つの小中で実施予定です。

